

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケイブ
コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 菊地 徹

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

TEL 03-6820-8176

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	420	△6.4	△104	—	△104	—	△152	—
26年5月期第1四半期	448	△32.1	△60	—	△60	—	△57	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△67.06	—
26年5月期第1四半期	△26.35	—

(注)当社は平成25年12月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	1,335	75.7	1,013	75.7		
26年5月期	1,265	67.7	864	67.7		

(参考)自己資本 27年5月期第1四半期 1,011百万円 26年5月期 856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

平成27年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	2,432,600 株	26年5月期	2,256,100 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	47,000 株	26年5月期	47,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	2,278,890 株	26年5月期1Q	2,174,500 株

(注) 当社は平成25年12月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想に関して

平成26年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

(2) 決算補足資料の入手方法について

当社は、当第1四半期決算短信の適時開示後、決算補足資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、消費増税による駆け込み需要の反動が長引いていることに加え、台風などの悪天候の影響から個人消費が落ち込みました。円安傾向が続いていることから、輸出を中心に企業業績の回復が期待されているものの、海外経済の悪化による輸出の低迷も懸念されております。

このような環境の中、当社の属するオンラインエンターテインメント業界におきましては、MVNO(※)が提供する「格安スマホ」の登場により、フィーチャーフォンからスマートフォンへの買い替えを後押しし、選択肢の増えたスマートフォンはさらなる普及の時期を迎えております。これによりスマートフォンアプリ市場も拡大が続くと見込まれます。

当社におきましては、前期においてリリースした3本のスマートフォンネイティブアプリの売り上げ拡大に向けて改善に努めましたが、未だ期待された成果に繋がっておりません。既存のブラウザゲームにおいてもユーザーの減少傾向が続いており、売上は平成26年5月期第4四半期と比較して減少しております。このことから、現在運用中のゲームについて採算性の再評価を行い、当第1四半期においてソフトウェア48百万円を減損処理し、特別損失として計上いたしました。

一方で当社の既存ゲームのライセンス提供開始が決定し、業績回復に向けて新たな取り組みを開始しております。具体的には、当社のアーケードゲーム『虫姫さまふたり：Black Label』のスマートフォンネイティブアプリ版『虫姫さま【究極バトル】』を大手ゲームパブリッシャーNHNエンターテインメント株式会社が提供し、当社は著作権者としてロイヤリティを受け取ります。このゲームは平成26年10月13日に韓国を皮切りにリリースされ、今後日本を含め全世界に向けてリリース予定です。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高420百万円(前年同期比6.4%減)、営業損失104百万円(前年同期は60百万円の営業損失)、経常損失104百万円(前年同期は60百万円の経常損失)、四半期純損失152百万円(前年同期は57百万円の四半期純損失)となりました。

※仮想移動体通信事業者。携帯電話やPHSなどの物理的な移動体回線網を持たず、回線網を保有する他の事業者から借りて、自社ブランドで通信サービスを行う事業者。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて70百万円増加し1,335百万円となりました。これは、現金及び預金202百万円の増加、売掛金19百万円、未収入金68百万円、その他17百万円の減少等により、流動資産が102百万円増加したことと、ソフトウェア52百万円の減少、ソフトウェア仮勘定25百万円の増加等により、固定資産が31百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて79百万円減少し321百万円となりました。これは、未払費用41百万円、長期借入金29百万円が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて149百万円増加し1,013百万円となりました。これは、資本金154百万円、資本剰余金154百万円が増加、利益剰余金152百万円が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想といたしましては、今後当社が注力していくスマートフォン向けゲームアプリについては市場の急拡大期にあり、今後のリリースタイトルの収益貢献規模によって、全社業績が大きく左右されることから、現時点においては、信頼性の高い通期及び半期の業績予想値を算出することが困難であります。

したがって平成27年5月期の業績予想につきましては、これらの当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当事業年度 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	551,637	754,263
売掛金	54,566	34,569
有価証券	19,994	19,994
貯蔵品	2,394	2,409
前払費用	8,534	14,364
未収入金	269,836	201,545
その他	18,102	446
貸倒引当金	△750	△1,189
流動資産合計	924,316	1,026,403
固定資産		
有形固定資産		
建物	54,968	54,968
減価償却累計額	△11,685	△13,206
建物(純額)	43,283	41,762
工具、器具及び備品	193,594	184,611
減価償却累計額	△172,950	△165,836
工具、器具及び備品(純額)	20,644	18,774
有形固定資産合計	63,927	60,536
無形固定資産		
商標権	3,760	3,572
ソフトウェア	101,435	48,773
ソフトウェア仮勘定	22,746	48,205
その他	630	630
無形固定資産合計	128,573	101,182
投資その他の資産		
投資有価証券	0	-
出資金	826	826
敷金	61,694	60,511
差入保証金	22,137	22,137
長期未収入金	127,963	127,963
貸倒引当金	△63,981	△63,981
投資その他の資産合計	148,640	147,456
固定資産合計	341,140	309,175
資産合計	1,265,457	1,335,579
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	116,528	116,928
未払金	80,423	78,906
未払費用	108,847	67,674
未払法人税等	7,788	5,020
未払消費税等	14,771	6,440
前受金	10,921	13,496
預り金	11,259	12,275
流動負債合計	350,539	300,742
固定負債		
長期借入金	50,380	20,848

固定負債合計	50,380	20,848
負債合計	400,919	321,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,279	1,050,328
資本剰余金		
資本準備金	839,918	993,966
資本剰余金	839,918	993,966
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△843,992	△996,818
利益剰余金	△833,122	△985,948
自己株式	△46,876	△46,876
株主資本合計	856,198	1,011,469
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△8
評価・換算差額等合計	△8	△8
新株予約権	8,347	2,528
純資産合計	864,537	1,013,989
負債純資産合計	1,265,457	1,335,579

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	448,953	420,059
売上原価	248,684	265,516
売上総利益	200,268	154,543
販売費及び一般管理費		
回収費	103,272	90,651
広告宣伝費及び販売促進費	14,460	7,059
役員報酬	14,850	20,400
給料及び手当	23,484	34,899
研究開発費	51,269	38,753
地代家賃	3,810	5,614
支払手数料	4,154	4,875
その他	45,042	57,056
販売費及び一般管理費合計	260,344	259,310
営業損失(△)	△60,075	△104,766
営業外収益		
受取利息	59	39
受取手数料	52	64
前受金消却益	637	602
その他	26	1
営業外収益合計	775	707
営業外費用		
支払利息	1,266	647
その他	70	0
営業外費用合計	1,336	647
経常損失(△)	△60,636	△104,706
特別利益		
新株予約権戻入益	3,712	842
特別利益合計	3,712	842
特別損失		
固定資産除却損	-	143
減損損失	-	48,245
特別損失合計	-	48,389
税引前四半期純損失(△)	△56,924	△152,254
法人税、住民税及び事業税	385	572
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	385	572
四半期純損失(△)	△57,309	△152,826

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金154,048千円、資本準備金154,048千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が1,050,328千円、資本準備金が993,966千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。